

分野1【しごとづくり】

基本目標	基本的方向性	数値目標			
		区分	項目	現状値(時点)	R6
安定的で魅力ある雇用を創出する	本分野では、持続可能なまちに不可欠となる地域経済の発展に向けた「地域産業の活性化」と、人口のダム機能となる働く場の確保や多様な働き方の推進に向けた「多様な働く場の創出」の2つの方向から施策を推進します。	新規	34歳以下の就職率(ハローワーク上越管内、パートを除く常用、雇用期間の定めなし又は4か月以上)	39.8%(H30)	45.7%
		継続	雇用の場が整っていると感じる20代・30代の市民の割合	42.2%(R元)	42.2%以上

基本的方向性	具体的施策	基本的な考え方	重要業績評価指標(KPI)				
			区分	項目	現状値(時点)	R6	
A-1 地域産業の活性化	A-1-1 地域産業の競争力強化と地域内経済循環	<ul style="list-style-type: none"> 地域産業の一層の競争力強化や地域内経済循環を高め、自立性の高い地域経済を構築します。 市内の金融機関・商工団体等と地域産業の支援に向けたネットワークを構築し、協調連携による取組を推進します。 市場ニーズを的確に捉え、地場農産物、製品製造技術を始めた地域資源を利用する新たな上越産品の開発と販路拡大に向けて、地域が一丸となって取組を推進します。 雪エネルギーに着目し、農業、製造業、商業など幅広い産業分野へ積極的に普及・展開します。 	継続	メイド・イン上越認証品数(累計)	114品(H30)	146品	
			継続	雪室食品を商品化する食品関連事業者数	8事業者(H30)	13事業者	
	A-1-2 産業誘致とインフラ整備	<ul style="list-style-type: none"> 直江津港や道路ネットワークなどの社会資本の一層の機能強化や整備促進、利活用のための総合的な支援体制の構築に取り組みます。 物流・貿易の拠点性をいかにした国内外との経済交流を促進し、新たなビジネスチャンスを創出します。 	継続	直江津港の外貿定期コンテナの仕向地など	2航路(H30)	航路数の増加・コンテナの仕向け地の多様化	
			継続	外貿定期コンテナ取扱量(コンテナ取扱個数は、20フィートコンテナ1個に換算した数)	33,097個/年(H30)	50,000個/年	
	A-1-3 ものづくりを核とした中小企業の成長促進	<ul style="list-style-type: none"> 地域経済をけん引し、市民の安定的な雇用の確保において中核となる製造業において、地元中小企業の技術革新や経営安定化、販路開拓を促進します。 	新規	製造品出荷額等	574,963百万円(H29)	706,283百万円	
			新規	製造業従業員数	16,686人(H29)	18,064人	
			継続	新商品・新技術の開発・市場化の支援件数	4件/年(H30)	5件/年	
	A-1-4 農業の競争力強化と担い手確保	<ul style="list-style-type: none"> 農業の競争力強化や担い手確保に向けて、農業関係者又は農業分野以外の当市の様々な団体・機関との連携により、それぞれの特性をいかした地元農産品の利活用促進や、地域資源としての「農」をいかした取組を推進します。 	継続	認定農業者等の担い手への農地集積率	67.8%(H30)	90.0%	
			継続	認定農業者数	1,150人(H31.4)	1,040人	
			継続	新規就農者数	38人/年(H30)	31人/年	
	A-2 多様な働く場の創出	A-2-1 若者の定着促進と就労支援	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体・機関の連携の下、若者世代の多様な求職ニーズに合った働く場の確保や、仕事先への定着、UIJターンによる就労促進に向けた事業に取り組めます。 若者世代の就職希望が高い情報通信業などの産業を活性化させることで、新たな雇用創出につながる取組を推進します。 	新規	高校新卒者の地元就職割合	73.9%(H30)	80.0%
				新規	インターンシップを受け入れている市内企業の割合	60.0%(H30)	60%
A-2-2 多様な人材が活躍できる職場環境づくりと就労支援		<ul style="list-style-type: none"> 女性や高齢者、障害がある人など誰もが個々の能力をいかしながら働くことのできる雇用環境を整えるため、意識啓発や雇用促進につながる施策に取り組めます。 時間や場所などを選ばない多様な働き方の実現に向けて、若者世代等が創業しやすい環境の構築を推進します。 	新規	子育て中の女性の就職率(ハローワーク上越マザーズコーナーにおける就職率)	42.7%(H30)	45.1%	
			一部継続	創業実現件数	72件/年(H30)	72件/年	

第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI(案)

分野2【結婚・出産・子育て】

基本目標	基本的方向性	数値目標			
		区分	項目	現状値(時点)	R6
若い世代の結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境を整える	本分野では、若者世代等が結婚後も安心して働ける環境づくりなどに向けた「仕事と生活が調和した社会の形成」や若者世代が結婚・出産・子育ての希望を持つことができる地域社会の形成に向けた「結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境づくり」の2つの方向から施策を推進します。	KPIから移動	合計特殊出生率	1.52 (H29)	1.68
		継続	出産や子育てがしやすいと感じる20代・30代の市民の割合	70.0% (R元)	70.0%以上

基本的方向性	具体的施策	基本的な考え方	重要業績評価指標(KPI)			
			区分	項目	現状値(時点)	R6
B-1 仕事と生活が調和した社会の形成	B-1-1 ワーク・ライフ・バランスの更なる推進	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の子育て参画促進を通じて女性の子育てに関する負担感軽減や、子育て中にある女性の就職率向上による世帯収入の向上に向けて、仕事と生活の調和を更に推進します。 ・関係機関・団体が連携・協力し、企業・経営者と労働者・家庭の双方におけるワーク・ライフ・バランスに対する理解を促進するための意識啓発活動を推進します。 	新規	市内企業におけるハッピー・パートナー企業登録制度の登録数	55件 (H30)	73件
			新規	協議会参加団体(※1)により新たに創出(刷新)されたワーク・ライフ・バランスの趣旨を踏まえた研修、家族参加型イベントの件数	1件/年 (H30)	2件/年
B-2 結婚・出産・子育ての希望を実現しやすい環境づくり	B-2-1 自然な出会いと結婚の希望の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会参加団体が各々のイベント等を主催する際に、副次的に「自然な出会いの場」が創出されるよう、若者世代が参加しやすい仕組みや、若者同士が交流する仕掛けを取り入れる意識の醸成を図ります。 ・結婚の希望を実現しやすい環境を整えるため、自らの魅力を磨き、自分にあった結婚を実現するための行動や心構えなどを考える機会や情報を提供します。 	新規	婚姻率	4.0 (H30)	4.0
			新規	協議会参加団体(※1)により新たに創出(刷新)された若者参加型の研修、イベントの件数	2件/年 (H30)	2件/年
	B-2-2 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産・子育てに対する正しい理解を深めることのできる相談体制と親への支援の充実を図ります。 ・地域や社会が親に寄り添い、子育ての負担や不安、孤立感を和らげるよう、切れ目のない支援体制を構築します。 ・子育て世代が仕事をしながら、安心して子育てすることが可能となるよう、保育園等の適正な配置と保育環境の充実を図るとともに、ニーズの多様化に対応した保育サービスの提供に取り組みます。 	新規	子育てジョイカードの年間発行世帯数	2,754世帯 (H30)	2,446世帯
			新規	待機児童数	0人 (H30)	0人
	B-2-3 すこやかな育ちへの支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力の定着を図るとともに、「知・徳・体」のバランスのとれた教育を提供します。 ・発達障害など特別な支援を必要とする子どもの育ちについて、社会的自立を目指し、乳幼児期から就学後まで切れ目なくきめ細かな支援を行います。 ・学校等の子どもたちを育む環境について、人口減少の進行による市内の各地域における児童・生徒数の変化等に対応しつつ、子どもたちにとって望ましい学習環境を確保します。 ・いじめや不登校に悩む子どもたちや保護者の不安を解消し、すこやかな育ちへの相談・支援体制を強化します。 	継続	児童・生徒の標準学力検査の偏差値	中学校2年英語のみ全国平均と同程度であるが、他は全学年・全教科で全国平均を上回る。 (H30)	小学校の各教科の偏差値平均53以上 中学校の各教科の偏差値平均52以上
継続			学校が楽しいと感じる児童・生徒の割合	小学6年生88.2% 中学3年生84.5% (H29)	小学6年生95.0% 中学3年生90.0%	
B-2-4 地域ぐるみの子育ての推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもは地域で育てるとの考え方に立ち、未来を担う子どもたちが自主性と社会性を身につけ、地域に貢献したいという気持ちを育むことができるよう、学校・家庭・地域が連携し、コミュニティ・スクールや地域青少年育成会議等の活動を通じて、地域ぐるみの子育てを推進します。 	新規	ファミリーサポートセンターの依頼会員数と提供会員数の比率	54.1% (参考:依頼会員516人、提供会員279人) (H31.3)	54.1%以上	
		継続	地域青少年育成会議事業等への地域住民の参加者数	174,586人/年 (H30)	181,000人/年	
B-2-5 上越の子育て環境の魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援策について、様々な主体とともに、丁寧かつ積極的な情報提供・情報発信に力を入れることで、市民が子育て環境に係るサービスを適切に利用できるようなすとも、その情報が市外の子育て世代に対して広く伝わるよう取り組みます。 	新規	まち・ひと・しごと創生推進協議会SNSの子育て環境に関する情報の投稿数	12件/年 (H30)	36件/年	
		新規	市と協議会参加団体(※1)が発信する子育て支援に関するSNSのフォロワー数	1,056人 (R元.11)	1,556人	

(※1) 協議会参加団体…「産・官・学・金・労・民」の13の機関・団体からなる会員と、市内の市民団体、NPO法人、企業等からなるアクションメンバーで構成する組織。ここでは、上越市を除く。

第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI(案)

分野3【まちの活性化】

基本目標	基本的方向性	数値目標			
		区分	項目	現状値(時点)	R6
時代に合った地域を形成し、地域間連携を活発化させる	本分野では、都市機能の強化や交通ネットワークの形成、まちづくり活動の促進、観光による交流人口増加などの持続可能なまちの形成に向けた「多様な地域特性の磨き上げと活用」「地域活動の担い手確保と活性化」「地域と地域を結ぶつながりの強化」「交流人口の拡大による自立したまちづくり」の4つの方向から施策を推進します。	新規	休日滞在人口率(滞在人口÷国勢調査人口) ※滞在人口…休日の14時に当市に滞在していた人数	1.04 (H30)	1.04以上
		継続	上越市を暮らしやすいと感じる20代・30代の市民の割合	77.6% (R元)	77.6%以上

基本的方向性	具体的施策	基本的な考え方	重要業績評価指標(KPI)			
			区分	項目	現状値(時点)	R6
C-1 多様な地域特性の磨き上げと活用	C-1-1 中心市街地の都市機能の強化と魅力の向上	・高田、直江津の中心市街地について、居住や都市機能の集積を図るとともに、多様な人々や団体が集まり、交流と連携が生まれるにぎわいのある都市拠点として整備します。	新規	拠点施設の入館者数 直江津…直江津学びの交流館、ライオン像のある館、直江津ショッピングセンター 高田…町家交流館高田小町、高田まちかど交流館、あすとびあ高田、イレブンプラザ	953,404人 (H30 直江津) 1,128,338人 (H30 高田)	954,000人以上 (直江津) 1,129,000人以上 (高田)
			新規	立地適正化計画の誘導重点区域内における65歳未満の人の区域外への転居数	313人/年 (H30)	295/年 以下
	C-1-2 農山村の暮らしを支える機能の確保と魅力の向上	・田園地域や中山間地域が有する農業生産機能や様々な公益的機能、農村らしいゆとりある住環境、自然環境と調和した里山らしい住環境を守っていくため、農山村の暮らしを支える機能の確保と魅力の向上を図ります。 ・中山間地域では、地域マネジメント組織を核として、農業と農村を持続的に担う体制の確立を図るとともに、自主的・自発的な地域活動に対する継続的な支援や、地域外からの移住や地域を支える新たなつながりを構築し、支え合い体制の維持・構築を推進します。	新規	地域支え合い事業を運営する住民組織数(累計)	22団体 (H31.4)	25団体
			新規	地域マネジメント組織の設置・取組	市内12の組織において中山間地域の活性化に向けた取組が行われている状態 (H30)	各地域の維持、再生に向けた取組が継続されている状態
	C-1-3 都市のストックの活用促進	・町家や古民家などの歴史的建造物等を、上越らしさを生み出す貴重な資源として再評価し、様々な主体が連携し活用する取組を推進します。 ・空き家問題への対応の一つとして、町家などを活用し地域活性化に取り組みます。	新規	高田区の町家区域における社会減の解消数	0人/年 (H30)	10人/年
			新規	協議会参加団体(※1)により新たに創出(刷新)された雁木・町家に関するイベントの件数	2件/年 (H30)	2件/年
C-2 地域活動の担い手確保と活性化	C-2-1 まちづくりへの参画とまちへの愛着醸成	・身近な地域における課題解決に資する取組や地域づくり活動を支援し、地域の活性化に向けて行動する人材の育成を図ります。 ・高校生とその親や、若年世代を中心に、市民に地域の魅力を伝え、理解や愛着を深めてもらう取組を推進します。	新規	NPO・ボランティアセンターのボランティアコーディネート数	133件/年 (H30)	133件/年
			新規	公民館が行う講座を受講したことにより、地域づくりに関する行動等につながった受講者の割合	-	50.0%
			新規	インスタグラムにおける「#上越」をつけた投稿数	約41,600件/年	53,093件/年
	C-2-2 まちづくり・地域づくり活動への支援体制の強化	・市民主体のまちづくり活動や地域課題の解決が継続・発展できるよう、地域自治体制度の活用やNPO・ボランティアセンターの機能強化を推進します。 ・市民が主体となる活動の経済的な自立に向けて、金融機関による情報面、資金面での支援体制を強化し、「ソーシャルビジネス」としての展開を促進します。	継続	NPO・ボランティアセンターの市民活動団体の登録団体数(累計)	255団体 (H30)	255団体
新規			協議会参加団体(※1)(市民団体に限る)により新たに創出(刷新)された団体の収入につながるイベント・サービス等の件数	0件/年 (H30)	2件/年	

第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI(案)

基本的方向性	具体的施策	基本的な考え方	重要業績評価指標(KPI)			
			区分	項目	現状値(時点)	R6
C-3 地域と地域を結ぶつながりの強化	C-3-1 公共交通の利便性向上と利用促進	・公共交通の沿線地域の行政、市民、地域経済界、交通事業者が一体となって、効率的で利便性の高い公共交通ネットワークを構築するとともに、持続可能としていくための利用促進に取り組みます。	継続	路線バス・乗合タクシー・スクールバス混乗の利用者数	1,497千人/年(H30)	1,487千人/年
			継続	在来線鉄道の利用者数(ほくほく線、えちごトキめき鉄道) ※1km当たりの1日平均旅客輸送人数	3,034人/日(ほくほく線:1,395人/日(H30) トキ鉄:1,639人/日(H30))	2,809人/日(ほくほく線:1,240人/日 トキ鉄:1,569人/日)
	C-3-2 地域内の交流促進と魅力発信	・広い市域に点在する多様な資源の価値や魅力を高め、来訪者の回遊性向上による多様な効果を市内全域に波及させます。 ・協議会合同部会等の活動を通じて、分野横断的な団体等の交流の場を創出するとともに、地域活性化に向けた連携活動の推進を図ります。 ・地域と地域、資源同士を結び付ける魅力的なストーリーを設定し、様々な主体・地域が連携し、その魅力を積極的に発信します。 ・魅力的な産業、子育て環境、地域の歴史や文化、自然、食等々、上越だからこそ発信できるものを戦略的に発信していくことで、市民のまちへの愛着を高めるとともに、市外から関心を持ってもらうきっかけを創出します。	新規	文化財の公開・活用を図る出前講座や体験学習事業への参加者数	4,110人/年(H30)	4,544人/年
			新規	上越観光Naviの総ページビュー数	1,009,687件/年(H30)	1,600,000件/年
C-4 交流人口の拡大による自立したまちづくり	C-4-1 観光コンテンツの充実と各担い手の観光マインドの底上げ	・地域の様々な主体がそれぞれの特性をいかし、豊かな食や自然、歴史・文化資産など当市らしい観光コンテンツの充実を図るとともに、それらを関連産業の強化につなげていくために必要な仕組みづくりを分野横断的に推進します。 ・市民一人ひとりが、観光に主体的・能動的に取り組む担い手となり、それぞれが立場に応じた役割を果たすことで、地域一体となった上越市らしい観光地域づくりを目指します。	継続	市内への観光客入込数	5,176,854人/年(H30)	5,830,000人/年
			新規	全国規模のスポーツ大会の誘致件数	2件/年(H30)	6件/年
	C-4-2 コンベンション誘致による多様な交流機会の拡大	・多様な交流機会の拡大や市内経済への波及効果の創出に向けて、当市の恵まれた地勢や広域交通ネットワーク、新たに設置された新潟県立武道館や上越体操場等をいかし、地域を挙げた様々な分野でのコンベンションの誘致を促進します。	継続	100人以上の宿泊を伴うコンベンションの誘致件数	12件/年(H30)	17件/年

(※1) 協議会参加団体…「産・官・学・金・労・民」の13の機関・団体からなる会員と、市内の市民団体、NPO法人、企業等からなるアクションメンバーで構成する組織。ここでは、上越市を除く。

第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI(案)

分野4【UIJターンとまちの拠点性・担い手づくり】

基本目標	基本的方向性	数値目標			
		区分	項目	現状値(時点)	R6
多様な人の流れやまちを担う人を創出する	当分野では、他の3分野と連動して推進する分野ととらえ、全ての分野に共通する分野として設定し、「若者等の定住・UIJターンの促進」と「まちの総合力の強化による求心力の向上」、「まちを担う若者人材等の育成と交流」の3つの方向からの施策を推進します。	新規	転入者数	4,246人 (H26～H30の平均値)	4,246人以上
		継続	今後も上越市に住み続けたいと感じる20代・30代の市民の割合	60.5% (R元)	60.5%以上

基本的方向性	具体的施策	基本的な考え方	重要業績評価指標(KPI)			
			区分	項目	現状値(時点)	R6
D-1 若者等の定住・UIJターンの促進	D-1-1 若者等の定住・UIJターンの促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当市出身者や当市の魅力に触れた人々とのつながりを強化するとともに、市民団体等の活動や当市の魅力に共感する人々が、集い、学び、関わることで定住につながる仕掛けづくりを推進します。 ・ 女性の転出超過が著しい状況を改善するため、魅力的な子育て環境等の情報発信等を通じて、子育て世帯などのUターン等の移住を促進していきます。 	継続	移住希望者からの相談対応件数	113件/年 (H30)	134件/年
			新規	市の移住関係制度等を利用した移住者数	14組・19人 (H30)	43組・62人
D-2 まちの総合力の強化による求心力の向上	D-2-1 まちの拠点性の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちの拠点性を強化していく取組は、「しごとづくり」「結婚・出産・子育て」「まちの活性化」の3つの分野における全ての取組を位置付けます。 ・ 未来技術などの地域の課題解決や活性化に向けた取組を分野横断的に推進していくために必要な取組は当施策に位置付けます。 ・ 全ての政策分野に共通した課題となる情報発信について、SNS等を活用した情報発信を推進します。 	新規	上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会のSNSフォロワー数	1,319人 (R元.9)	2,819人
			新規	市と協議会参加団体(※1)が新たに着手(※2)した未来技術に関する取組の件数	-	2件/年
D-3 まちを担う若者人材の育成と交流	D-3-1 若者の人材育成と交流促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者等に関心が高い取組や事業を通じて、次世代を担うまちの担い手の発掘と人材育成に向けた取組を推進します。 ・ 協議会参加団体が、それぞれの団体・機関の取組を行う中で、若者世代の育成や交流につながるイベント等を創出します。 	新規	市が主催、共催、後援する若者が参加対象の事業の件数	26件/年 (H30)	56件/年
			新規	市が共催、後援する若者が参画する事業の件数	6件/年 (H30)	16件/年
	D-3-2 外部人材の活躍	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生等の若者世代の発想や活力、専門家など外部人材による新しい知見を地域課題の解決等にいかすため、行政、市民団体、教育機関等の連携体制の構築を行う仕組づくり・モデル事業に取り組みます。 	新規	市と大学の連携及び地域と大学の連携の件数(累計)	59件 (H30)	75件

(※1)協議会参加団体…「産・官・学・金・労・民」の13の機関・団体からなる会員と、市内の市民団体、NPO法人、企業等からなるアクションメンバーで構成する組織。ここでは、上越市を除く。

(※2)新たに着手…原則として予算化されたものとするが、実情に応じて予算を伴わない場合であっても、導入に向けて具体的な行動を行った場合はこの限りではない。

政策分野	数値目標	KPI	
		全体数	うち協議会
しごとづくり	2	14	0
結婚・出産・子育て	2	12	3
まちの活性化	2	18	2
UIJターンとまちの拠点性と担い手づくり	2	7	1
合計	8	51	6